

雪ゆきのひ日につく作るうた歌一首

四二二六番

この雪ゆきの消残けのこる時ときに いざ行ゆかな 山やまたち橋ばなの
実みの照てるも見みむ

四二二七番

大殿おほとののこのもとほりの雪ゆきな踏ふみそね しばし
ばも降ふらぬ雪ゆきそ 山やまのみに降ふりし雪ゆきそ ゆめ
寄よるな 人ひとや な踏ふみそね 雪ゆきは

反歌はんか一首

四二二八番

ありつつも 見めしたまはむそ 大殿おほとののこのもと
ほりの雪ゆきな踏ふみそね